



## ■これからも一歩ずつ——発電所第一号機通電式報告■

2015年2月1日に発電所第一号機通電式を開催しました。

お天気の良い中、30人以上の方に事前に発電所見学をしていただき、川崎市国際交流センターで開催された通電式。

前半の記念講演では、川崎医療生協 協同ふじさきクリニック所長の竹内啓哉さん、エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク代表理事・鈴廣かまぼこグループ代表取締役副社長の鈴木悌介さん、多摩循環型エネルギー協会・多摩電力合同会社の大木貞嗣さんという豪華なゲストの方々にお話をいただきました。

竹内さんからは「安全な線量」というものはない中で、放射線の問題は単に医療の問題では

なく人権の問題であるということ。鈴木さんからは、経済VS脱原発といった「対立」ではなく、顔のみえる関係性の中で、新たな連帯や対話によって「新しい現実」を創り上げていくことの重要性。大木さんからは、人と人との顔が見える関係性の

ある「地域」の中でエネルギー問題に取り組むことが、輪の広がりをもたらし新たな可能性を生み出しているということ。それぞれのお話からは、こんなことを学び考える時間となりました。



続いて通電式。現役ラジオパーソナリティー小町さなえさんが司会をするアート部渾身の報道番組仕立ての式典。PV 上映、そして一号機からの通電の瞬間の中継、そして発電所の歴史を振り返る景品付きクイズ…などなど。手作りということもあり、予定外の出来事もありましたが。何よりも、メンバーそれぞれが持っているものを出しあい活動を創り上げていく、かわさき発電所の魅力やエネルギー、そして原発ゼロへの想いをみなさんにお届けできたのではないかと思います。

最後には、発電されたエネルギーを利用した、ウクレレによるハワイアン風の素敵な演奏の発電所からの中継。メンバーにとってはそれぞれがこれまでの歩みをかみしめこれからを考える時間に、そして参加いただいたみなさんには楽しみながらも再生可能エネルギーや原発について考える時間となったのではないのでしょうか。



この講演会と通電式には100名以上の方にお越しいただきました。そして、通電式の模様はNHKの首都圏ニュースで取り上げられるとともに、神奈川新聞でも掲載されました。



一号機の完成と通電は社会全体から見ると小さな小さな一歩かもしれませんが、福島第一原発事故を通じてあらためて感じた「原発ゼロ」への想いが、多くの方の支えやつながりを通して1つ形になったということ。そのことは、その次のステップに向けた大切な一歩だと思います。

「市民による市民のためのエネルギー革命」。次のステップに向けて。一歩ずつ。これからも歩みを止めることなく「原発ゼロ」の社会へ、そして人や命を大切に作る社会に向けて一歩ずつ進んでいければと思っています。これからも原発ゼロ 市民共同かわさき発電所と一緒に歩んでいただければ嬉しいです。

イベントチーム 小川杏子

## ■ 1号機の発電開始状況 ■

木田です。思えばあっという間でした。2014年10月に工事契約を結び、12月中旬に住民説明会、太陽光パネル搬入・設置、正月明けから1月11日まで電気工事でした。1月22日の午後から東京電力への売電（系統連系）が始まりました。

2月1日の点灯式には屋上の太陽光パネルを見学しにたくさんの方が登られました。そのときに太陽光パネルには人影ができ、発電量の低下をみんなで確認できたことは思わぬ実体験でした。



発電量のモニタリングはパワーコンディショナーメーカー(ドイツ SMA)が提供するシステムを使っています。NTT ドコモの 3G 通信回線を使いパソコンやスマホのインターネットブラウザで確認できる仕組みですから発電量のチェックをしにわざわざ元住吉に行く必要がありません。発電量低下などのトラブル時はメールを受信するようにしているのですぐに対応できます。また、関係者には毎日の発電量レポートメールを送るようにしています。

Sunny Portal 情報レポート 太陽光発電システム： 原発ゼロ市民共同かわさき発電所 1号機 日付：2015/02/10

1日の発電量： 110.175 kWh  
 1日の最大出力： 18.111 kW  
 1日の収入： 3807.648 JPY  
 1日のCO2削減量： 77.123 kg

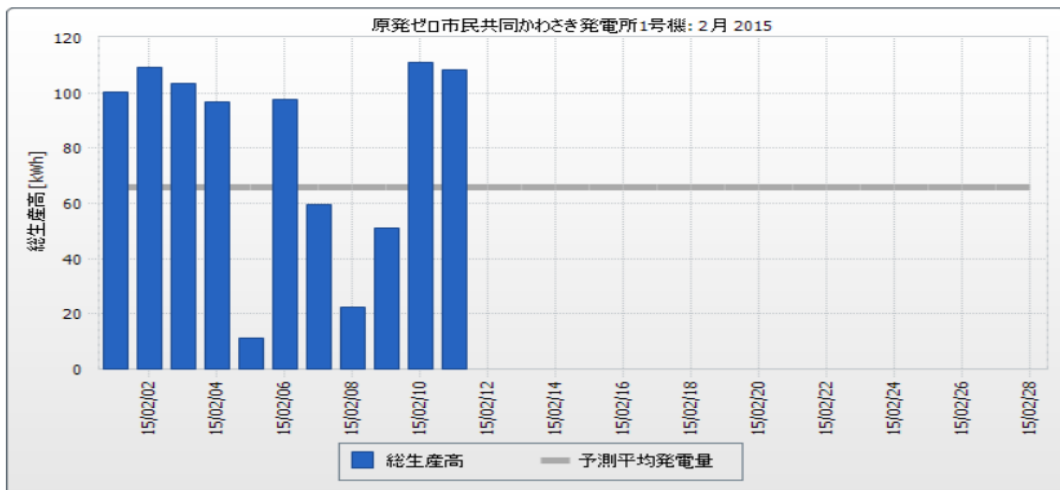
天気の良い日は 100kWh を超える発電をしており、2月11日時点の累計で約1,490kWh 発電、およそ51,500円の売電収入を獲得しています。春先の4月～5月は最も発電する時期なので待ち遠しいです。

発電量はホームページ <http://genpatuzero-hatuden.jimdo.com/> 発電所1号機 をご覧ください。 事業検討チーム 木田 千栄美

▼ 太陽光発電システムのデータ

<p>現在の出力 直前</p>  <p><b>1866 w</b></p>	<p>発電量</p>  <p><b>108.23 kWh</b> 今日</p> <p>合計: 1490.59 kWh</p>	<p>CO2削減量</p>  <p><b>76 kg</b> 今日</p> <p>合計: 1.0 t</p>
<p>太陽光発電システムの情報</p>  <p>設備容量: 25.00 kWp 操業開始: 2015/01/22</p>	<p>天気予報の対象地域: 川崎市中原区</p>  <p><b>7.0 c</b> 快晴</p> <p>明日 &gt;&gt;</p>	

日 月 年 合計



## ■自己紹介コーナー■ No.6

今月号は「原発ゼロへのカウントダウン in かわさき」事務局長でもある丸山健二さんです。

### 未来を選ぶのは僕たち自身

2011年3月11日、東電の原発事故が起きた時、僕は原発というものがどういうものなのかをほとんど知りませんでした。いや、恥を忍んで言うと「電気がどこからきているのか」という事に考えを巡らせた事は、それまで一片たりともありませんでした。3、11前の僕にとって電気は空気と同じように、ただ、当たり前そこにあったものでした。



しかし、事故が起きて、原発事故が地域の人々の営みを根こそぎ破壊するさまを見て、「なんて危険なものに無知で無関心でいたんだろう」と思いました。

数か月後に娘が産まれました。私の娘が生きていく未来にこんな危険なものはあって欲しくないと思いました。その時、東京の方とかでも数万人の人たちが原発はいらないという声を上げていて、僕たちも僕たちが住んでいる川崎から声を上げたいと思って、2012年3月11日に原発ゼロへのカウントダウン in かわさき集会を開催しました。1650人の市民が集いました。今年は4回目となる集会を3月8日に中原平和公園で開催します。ぜひ、自分たちの住む町から声を一緒にあげましょう。

この文章もパソコンという「電気がないとただのゴミ」を使って書いています。電気はそれはそれで便利だし、思ったよりも深く僕たちの生活に入り込んでいます。日本のエネルギー自給率は4%。国内で湯水のごとく使っているエネルギーのほぼすべてを海外からの輸入に頼っています。脆弱な基盤にさらにリスクの高い原発を使っていくのか、国産の自然エネルギーを増やして、自給率を高めていくのか。未来を選ぶのは僕たち自身。

はじめよう原発ゼロへのカウントダウン！

理事 丸山 健二

#### ■NPO 法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所■

ホームページ

<http://genpatuzero-hatuden.jimdo.com/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/genpatuzero.hatuden>

連絡先 TEL 090—7948—6189（川岸）

#### 【編集後記】

2月1日の「通電式」には100人を超える大勢の方々にご参加いただき心より感謝申し上げます。開会前、現地の屋上へ上がって30人の方にパネルを見ていただいた見学会では柵がないのでひやひやしました。また、現地と中継で生演奏という初チャレンジをした若手のメンバーには拍手を送りたいと思います。とても眩しく感じました。これからの企画もお楽しみに！

（加藤伸子）

